

<<東北魂>>を鼓舞する  
電子新聞

発行所 株式会社遊無有  
〒207-0005  
東京都東大和市高木3-315-1-2-2  
<http://www.yumuyu.com/>  
e-mail:yumuyu@wj8.so-net.ne.jp

# 東北復興

Rising up , TOHOKU!

無料

第81号

毎月発行

発行 2019年(平成31年)2月16日 土曜日

2019年(平成31年)2月16日 土曜日

## 【当新聞発行責任者 兼編集長兼記者紹介】

### 【砂越 豊】

宮城県生まれ、65歳、経営コンサルタント、趣味は縄文研究、今年1月に『東北先史時代学』を提唱、東北から日本を変えることを標榜。また縄文遺跡保存活動として郷里の涌谷町の『長根貝塚保存活動』開始。映像プロデュース事業にも進出。



## 映画 【涌谷7000年の歴史】ついに完成 東北古代史を掘り起こす歴史ドキュメンタリー 2/23 三鷹産業プラザにて試写会開催

### ようやく映画完成

昨年夏に突然、まったく思いも寄らなかった本格的な映画作りに着手することになった。  
それまでは、五分程度の短時間動画を作るくらいのことだだったが、どうしたとかが、あれよあれよという間に、中編映画の構想に発展した。  
そして最終的に出来上がったのは約二時間もの長編映画となつてしまった。  
けつして編集カットを惜しんだ間延びのせいではない。かなり思い切ったカットを入れたが、結果的にこんな長さになつてしまった。まさに、恐れを知らない素人の暴走の極みである。  
**初作品が今後を決める**  
小説でも、評論でも、最初の作品がその後の路線を決めるといっても過言ではない。映画も同様だろう。最初は、涌谷町という東北の宮城県北部の小さな城

であった。  
しかし、史実を調べ、史実に欠落している部分を想像力で補うことを繰り返していったら、そこに出現してきたのは涌谷の古代の激動の日本史であった。しかも、それにとどまらず、涌谷の歴史が中央の歴史に直結しているという構造も見えた。  
なぜいままでだれもこれを取り上げ、映像にしなかったのだろうと思つた。  
なぜ映画にして多くの人とこの構造を共有しなかったのだろうか。  
こんなにスリリングな歴史が、ちよつと掘り起こしただけで出現するのである。とても不思議だった。  
そうこうするうちに、日本古代史が筆者の映画作りの基本テーマに成長していくのを感じながら、生まれて初めての映画作りに呻吟することになった。  
**当面、東北の古代をテーマとする**  
こうした経緯を経て、こ

の映画制作が今後の筆者の映画テーマを決めたようだ。すなわち、東北の古代の激動の歴史であり、そこで変わっていったダイナミズムを表現することとなった。初作品ではもちろん、まだまだ掘りつくしていないと感じる。  
そして、素人にもかかわらず、制作途中から次の作品の構想が浮かんできた。これには参つたが、浮かんでくるものは仕方ない。  
そして、おそらく長くて抜け出せそうもない、東北古代という長いトンネルを突き進んでいくことだろう。  
**試写会開催**  
制作側の勝手な願望ではあるが、作つた以上、多くの人に見てもらいたい。そんなことで、まずは二月二十三日に、三鷹産業プラザで試写会を開催することにした。その後、涌谷町での本格上映に臨むこととした。

## —歴史ドキュメンタリー映画試写会のお知らせ—



宮城県北部の城下町・涌谷町には、実に7000年の歴史があります。縄文時代から、弥生、古墳、天平、奈良、平安以降、江戸時代までの連続した歴史です。特にこの町は、いまから1300年ほど前、日本で**最初に金が採れたこと、東大寺の盧舎那仏に鍍金された金**であったことで有名です。このまちの歴史をより深く掘り起こしていくと、激動の古代日本の姿が、このまちの激動と連動して生き生きと蘇ってきます。



涌谷町教育員会、涌谷町議会、天平ろまん館、篁峯寺、涌谷高校等協力  
涌谷町挙げての協力、涌谷町民が出演する涌谷町の歴史掘り起こし映画

## 『涌谷7000年の歴史』 2月より上映開始

次世代・次々世代に伝える涌谷町の7000年の歴史

涌谷町出身、この映画で映画プロデュース、脚本、監督デヴューの砂越豊による企画制作  
問い合わせ先:(株)遊無有 代表 砂越豊 メール:[y.s.prewords@d6.dion.ne.jp](mailto:y.s.prewords@d6.dion.ne.jp)

上映場所	上映日	上映時間
三鷹産業プラザ	2019年2月23日(土)	18:30~20:20(110分) (試写会無料)
涌谷町公民館	2019年3月24日(日)	午前10:20/午後14:00/夜18:30 3回
涌谷町各学校	3月上映予定	詳細未定
その他	3月発売開始予定	DVD発売開始予定





刺身



牡蠣グラタン



ほたて焼き



ほや塩辛



三陸ワカメ



海鮮茶漬

第37回  
三陸酒  
海鮮会  
料理が素晴らしい回でした  
もちろん地酒もおいしかった  
次回は  
3/30



冽



AKABU



山の井



理系兄弟



くどき上手



写楽



## 第54回 水産業再興のための 料理レシピ紹介

### 《ごっこ汁》

「ごっこ」はオタマジャクシのような泳ぎをする可愛い魚です。この季節、ワカメの間引きをするらしく、吸盤でくっついたまま一緒に海中から上がるようです。近くの漁師さんからいただきました。(松本)



郷土料理愛好家  
松本由美子氏

「宮城産の岩海苔を使ったごっこ汁。仙台でも食べるようですが、函館では1～2月限定の郷土料理です。(松本)

【材料】 ごっこ一匹あるいは1/2匹、岩海苔 適量、ネギ、ジャガイモ3～4個、ほんだし 少々、醤油 適量

【作り方】 ① ごっこの滑り(薄皮)は、熱湯をかけて、取り除きます ② 軟骨も食べれるので全てぶつぎりにします。 ③ 岩海苔を洗い、適当にカットします ④ ジャガイモは、皮をむき3センチのスライス、ネギはななめに切っておきます。 ⑤ 鍋に水からジャガイモを入れて煮ます。沸騰したら、ぶつ切りのごっこを入れアクが出たらお玉で取り除きます。ほんだし、醤油を入れ味を整えたら岩海苔を放し、ネギをいれて出来上がりです。

\* 岩海苔の風味が一段とごっこの味を押し上げ、豊かな冬ならではの鍋汁になります。オスは身が、メスは卵が甘いので両方利用します。(松本)



写真でお伝えする **東北の風景(穏やかな2月)** 写真撮影 尾崎匠



## 東北の「元気」はどれくらいか 全国「地域元気指数調査2018」 の結果から

### 「地域元気指数」とは

地域のリサーチ・マーケティング、コンサルティングなどを手掛ける株式会社アール・ピー・アイは、1月16日「全国「地域元気指数調査2018」の調査結果を公表した。同社はこの調査を2015年から実施しており、今回が4回目となる。全国の20〜69歳の男女約10万人に調査したとしている。

「地域元気指数」とは同社の造語で、「全国の都道府県別・市町村別の元気度や元気の評価要素を共通のモノサシで測定することを目指す。」「地域の総合的な元気度及び、元気の源となる47の評価要素を数値化したもの」である。

より詳細に見てみると、まず「その地域に住んでいる住民が主観的に自らの地域の元気度合いを10段階で評価した平均値」である「地域元気指数」と、「地域の元気度合いの要因を詳細に分析する」という「地域元気の5つの視点」の視点、その5つの視点それぞれに「地域元気の評価要素」が9〜11要素ずつ、合計47要素が割り振られている。「地域元気の5つの視点」とは、①今暮らしている地域の誇りや愛着について、②今暮らしている地域の賑わいについて、③今暮らしている地域の住みやすさについて、④今暮らしている地域の経済活発度・安定度について、⑤今暮らしている地域のコミュニティの充実度について、の5つである。

### 調査結果から見える こと

調査結果をざっと見ていくと、全都道府県における地域元気指数トップ10は、沖縄県と東京都が同率(地域元気指数617)で第一位、以下神奈川県(602)、兵庫県(594)、愛知県と石川県(591)、福岡県(589)、大阪府(587)、熊本県(581)、滋賀県(576)が続く。地域元気指数の全国

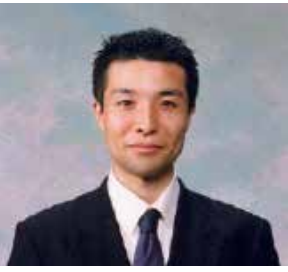
平均は569とのことである。続いて、地域元気指数そのものの増減を前年との比較で見ると、宮崎県がトップ(20)で、次いで熊本県(19)、福島県(18)、宮城県(15)、兵庫県(14)となっている。この点について、調査サマリーでは「復興と特徴を活かした地域づくりが地域元気を上昇させたと考えられる」と考察している。

市町村を見ていくと、まず市では(805市の平均577)、愛知県長久手市(760)が3年連続一位で地域元気指数も前年より0.39ポイント上昇。以下、千葉県浦安市(697)、沖縄県石垣市(694)、

### 執筆者紹介

大友浩平  
(おおともこうへい)  
奥州仙臺の住人。普段は出版社に勤務。東北の人と自然と文化が大好き。趣味は自転車と歌と旅。  
「東北ブログ」  
[http://blog.livedoor.jp/anagna51/](http://blog.livedoor.jp/anagna51)

Facebook  
<https://www.facebook.com/kouhei.ootomo>



る。その結果、地域元気指数が高い市町村では、「新しいものを受け入れる風土がある」「地域に楽しめる場所がある」「地域内で若い人の姿を多く見かける」「地元で買い物をする人が多い」「再開発などで街が変化し地域が魅力的になった」などの割合が高く、そうした要素が地域の元気をつくる秘訣となっているとのことである。調査サマリーでは「総じて、商店街や集客施設等、人が集まる場の活気が、地域の元気を支えている結果となった」とし、「ピト・モノの流動と人が集まる場所の活気が、地域の元気を支えている」とまとめられている。

ちなみに、見てきたように、東北の都道府県と市町村でトップ5までにランクインしているのは、唯一宮城県富谷市のみである。富谷市は仙台市の北側に位置し、仙台市のベッドタウンとして人口増が続いている。国道4号線沿いに大規模商業施設が相次いでオープンし、県内屈指の集客力を誇る。そうしたところが「元気」と判断されたのだろう。

この調査で面白いのは、都道府県別に自己評価と他者評価についても調べていることである。その結果、「観光客がたくさん訪れている」「交通基盤が整っている」「にぎやかで楽しい」「活力がある」などでは自己評価と他者評価の一致度が高かったが、「食べ物がおいしい」「人が優しい」「地域の人のつながりが強い」「子育て環境が整っている」などは自己評価と他者評価の一致度が低いことが分かった。

確かに、「一致度が低い」とされた項目は元々主観に左右される要素が大きそうな項目であるように見える。ちなみに、「食べ物がおいしい」の自己評価第一位は山形県(75.3%)で、青森県も第五位(68.8%)に入っているが、一方の他者評価での第一位は北海道(93.0%)で、以下福岡県、熊本県と来て、第四位に秋田県がランクインしている。

「人が優しい」の自己評価では第五位に岩手県(56.0%)が入っている

### 自己評価と他者評価 が一致しない項目に 東北の県が現れる理由

「食べ物がおいしい」の山形県の自己評価はいい意味で非常に好ましいと思う。自分たちの土地の食を極めて肯定的に見ていることがよく分かる。確かに種類豊富な果物、そば、芋煮、伝統野菜米沢牛、三元豚など、数え上げればきりがなく、数え

「人が優しい」の自己評価では第五位に岩手県(56.0%)が入っている

「地域の人同士のつながりが強い」の他者評価で上位にランクインしている青森県、福島県、秋田県は、そのような他者評価がされているというところを、積極的にPRしてみてもどうだろうか。「人が優しい」などは観光客を呼び込む際のPR材料としてうってつけである。「地域の人同士のつながりが強い」は、今国がその実現に向けて施策を立案している「地域共生社会」における重要な要素でもある。他者評価で上位にランクしている

「つながりが強い」などとは思っていないということなのだろうか、自分たちの「強み」が何かということは、他の地域からの方がよく見えるものなのかもしれない。「その地域に住んでいる住民が主観的に自らの地域の元気度合い」を評価するという「地域元気指数」において東北の各県、各市町村が上位にランクインしないというところは、東北に住む人自身が、自分たちの地域はそれほど元気でないと評価している表れであると言ったこともできるが、一方でその自分たちの地域は「優しさ」や「つながり」において他地域から評価される存在であるということは大いに誇るべきことである。

「つながりが強い」などとは思っていないということなのだろうか、自分たちの「強み」が何かということは、他の地域からの方がよく見えるものなのかもしれない。「その地域に住んでいる住民が主観的に自らの地域の元気度合い」を評価するという「地域元気指数」において東北の各県、各市町村が上位にランクインしないというところは、東北に住む人自身が、自分たちの地域はそれほど元気でないと評価している表れであると言ったこともできるが、一方でその自分たちの地域は「優しさ」や「つながり」において他地域から評価される存在であるということは大いに誇るべきことである。

「つながりが強い」などとは思っていないということなのだろうか、自分たちの「強み」が何かということは、他の地域からの方がよく見えるものなのかもしれない。「その地域に住んでいる住民が主観的に自らの地域の元気度合い」を評価するという「地域元気指数」において東北の各県、各市町村が上位にランクインしないというところは、東北に住む人自身が、自分たちの地域はそれほど元気でないと評価している表れであると言ったこともできるが、一方でその自分たちの地域は「優しさ」や「つながり」において他地域から評価される存在であるということは大いに誇るべきことである。

「つながりが強い」などとは思っていないということなのだろうか、自分たちの「強み」が何かということは、他の地域からの方がよく見えるものなのかもしれない。「その地域に住んでいる住民が主観的に自らの地域の元気度合い」を評価するという「地域元気指数」において東北の各県、各市町村が上位にランクインしないというところは、東北に住む人自身が、自分たちの地域はそれほど元気でないと評価している表れであると言ったこともできるが、一方でその自分たちの地域は「優しさ」や「つながり」において他地域から評価される存在であるということは大いに誇るべきことである。

## 自己・他者評価が比較的不一致

### 【食べ物がおいしい】

自己評価			他者評価		
順位	都道府県名	そう思う・計 (%)	順位	都道府県名	そう思う・計 (%)
1位 ← (1位)	山形県	n=1,288 75.3	1位 ← (1位)	北海道	n=820 93.0
2位 ↘ (4位)	福井県	n=840 72.0	2位 ↘ (10位)	福岡県	n=588 76.6
3位 ↘ (7位)	新潟県	n=1,772 69.3	3位 ↘ (18位)	熊本県	n=158 73.4
4位 ↘ (3位)	宮崎県	n=665 69.1	4位 ↘ (2位)	秋田県	n=210 72.0
5位 ↘ (9位)	青森県	n=1,276 68.8	5位 ↘ (4位)	大阪府	n=965 71.5

### 【人が優しい】

自己評価			他者評価		
順位	都道府県名	そう思う・計 (%)	順位	都道府県名	そう思う・計 (%)
1位 ← (1位)	宮崎県	n=665 63.3	1位 ↘ (3位)	沖縄県	n=211 78.8
2位 ↘ (7位)	鹿児島県	n=1,068 57.3	2位 ↘ (7位)	青森県	n=192 70.6
3位 ↘ (2位)	鳥取県	n=605 57.2	3位 ↘ (8位)	福島県	n=198 70.5
4位 ↘ (12位)	熊本県	n=1,045 57.0	4位 ↘ (1位)	秋田県	n=210 68.1
5位 ← (5位)	岩手県	n=1,321 56.0	5位 ← (5位)	新潟県	n=277 67.9

### 【地域の人同士のつながりが強い】

自己評価			他者評価		
順位	都道府県名	そう思う・計 (%)	順位	都道府県名	そう思う・計 (%)
1位 ← (1位)	鳥取県	n=605 45.3	1位 ↘ (2位)	沖縄県	n=211 78.8
2位 ↘ (8位)	福井県	n=840 41.7	2位 ↘ (3位)	青森県	n=192 78.2
3位 ↘ (7位)	鹿児島県	n=1,068 41.3	3位 ↘ (8位)	熊本県	n=158 69.8
4位 ← (4位)	長野県	n=2,314 40.8	4位 ↘ (1位)	秋田県	n=210 66.2
5位 ↘ (2位)	山形県	n=1,288 40.6	5位 ↘ (18位)	福島県	n=198 65.6

### 【子育て環境が整っている】

自己評価			他者評価		
順位	都道府県名	そう思う・計 (%)	順位	都道府県名	そう思う・計 (%)
1位 ← (1位)	福井県	n=840 46.2	1位 ← (1位)	神奈川県	n=527 36.7
2位 ↘ (5位)	東京都	n=5,518 40.8	2位 ↘ (29位)	熊本県	n=158 35.6
3位 ↘ (2位)	石川県	n=1,169 40.3	3位 ↘ (26位)	埼玉県	n=982 34.5
4位 ← (4位)	兵庫県	n=4,033 39.9	4位 ↘ (21位)	宮崎県	n=107 33.2
5位 ↘ (3位)	沖縄県	n=1,350 39.0	5位 ↘ (4位)	静岡県	n=420 32.2

# 『いわて』と『むつ』と『むつ』の軍艦、 『むつ』と『むつ』の船の事

「今や決して珍しくない、世界的な日本のアニメ映画作家の魁といえる宮崎駿は、児童文学に親しんだ事から培った物語世界で世代民族を超えて愛されているが、一方で学生時代から共産主義運動に身を投じた思想家であり、また熱烈な軍用車・軍用機マニアとしても知られていて、むしろその思想的葛藤や機械の細部へのこだわりが彼を稀有でユニークな描き手に育てたと言っても過言ではない・・・と、このような前振りです、武器・兵器好きを男の本能などと正当化するつもりはないのだが、今回は筆者の趣味的な話にお付き合い願いたい



奥羽越現像氏紹介

一九七〇年山形県鶴岡市生。札幌、東京を経て、全国の旅の末、仙台に移住。どの本屋に入っても、とりあえず郷土本の棚に向かつて立ち読みを始める東北好きである。

がらも、とある兵器の持つ一面と、東北との因縁について随想してみたいと思うのである。

\*

おこがましくも宮崎氏と筆者との共通点を考えれば、現代のものより古い兵器や乗り物が好きだという事だが、一方で筆者が嗜好するのが戦車や戦闘機ではなく、巡洋艦や駆逐艦、つまり艦船であるところは大きく異なる。それが何故なのか、長年考えた事はなかったが、その理由の一つに、船という乗り物には個々に名前が付けられる事が多い事、つまりその一隻一隻の個性が車や航空機より感じられる事にあつたかも知れない、と最近思い至った。

一九七〇年生まれの私は、ご多分に漏れず当時大人気のテレビアニメ『宇宙戦艦ヤマト』を通して現実に存在した戦艦・大和を知った。この世界に嵌まり込んだ。

次に大和型より一段下のグレードながら広く一般に知られた事で事実上国民のアイドル的存在であった長門型に興味があり、その姉妹艦である「長門」と「陸奥」が共に極めて特徴的にして対照的な最期を迎えている事に強く魅かれたのである。長門といえば、太平洋戦争にて日本海軍の主力

戦艦として唯一生き残り、戦後は米国の原爆実験によって太平洋上に消えた事で知られるが、一方の陸奥はどうかという、これより数年前の戦中に瀬戸内海停泊中謎の爆沈を遂げ、戦後まで国民に全く知られなかったという異色の顛末になっている。国民の誇り、象徴とまで呼ばれ愛された世界最強の戦艦・陸奥が実際は唯の一人の敵兵の命も奪う事なく、自らの多くの乗員を道連れに消滅した事は、まさに東北そのものの名を冠した艦が、無謀な国家の戦争行為を拒絶したかのような最期として何とも暗示的で忘れ難いものと心に刻み付けられたのだ。

たかが名前じゃないか、それを東北関連として主題にあげるのはこじつけもいところだと言われるかも知れない。しかしそもそも艦船に個体名を付されてきた理由には、古来船が人間と同等に見立てられ扱われてきた(遣唐使に使われた船には官位が授けられたものもあった)説、あの世(海)とこの世の境界にいる「子供」に似た存在であった事から「丸」のついた名が与えられたという説など諸説あり、また現実には戦艦・陸奥には青森県・岩木山神社の御分霊が祀られ、本艦が陸奥湾入泊の際には本格的な参拝隊が編成されたという。他にも筆者に身近なところでは城下町・仙

台の南を守護する愛宕神社に重巡洋艦・愛宕と戦没者の慰霊碑もあり、決して艦船の名が単なる呼び名に止まるものではない事が窺えるのである。

さて、東北関連の地名などが軍艦に冠された名という陸奥の他に重巡洋艦・鳥海や羽黒、最上が知られ以下、松島・能代・名取・北上・阿武隈といった名の軽巡洋艦が史上に記憶されている。彼らは現在に至るまで艦船模型として人気があり、その活躍もよく知られているが、実は東北関連の名を持ち、非常に活躍した主力艦ながら、現在ではほとんど知られていない一隻の艦がある。

二〇一二年に起工され、一五年より就役している新しい海上自衛隊の「護衛艦『いずも』」。書くまでもなく、島根県の旧国名・出雲に由来する名であるが、日本の艦船としては二代目の「襲名」である。そんな名前の軍艦あつたっけ?と思うのだが、無理もない。

太平洋戦争より前の、日露戦争の時代の艦、それも有名な『三笠』のような「戦艦」ではなく、一段兵力が下の「装甲巡洋艦」がその初代だったのだ。その初代『出雲』の姉妹艦に、『磐手』があつた。『出雲』が旧国名を由来としていたのに対し、『磐手』は『三笠』と同様、岩手県の岩手山という「山」の名

をとつたものであつた。世に名高い日本海海戦で日本の艦隊は『三笠』を始めとする戦艦を旗艦に置く第一艦隊、『出雲』を始めとする装甲巡洋艦を旗艦に置く第二艦隊などで編成されていた。司馬遼太郎の有名な『坂の上の雲』での主役はもちろん東郷平八郎、秋山真之が乗り込んだ第一艦隊・三笠だが、実は戦況に大きく貢献し、陰に隠れた印象的な逸話を数々遺したのが『出雲』、『磐手』の属した第二艦隊なのである。

当艦隊の旗艦は『出雲』であり、『磐手』は最後尾「殿(しんがり)」を務めたのだが、この位置関係はやはりというべきか、東北の名を冠した艦が先頭には来ないだろうな、という誰でも妙に納得してしまう配置であつたのはともかくとして、『出雲』には上村彦之丞中将、『磐手』には島村速雄少将という、いづれ劣らぬ両雄たる猛将・智将が乗り込んでいた。

日本海海戦の際、総旗艦・三笠からの指令を誤認によるものと判断した上村はこれを無視、独断で自らの巡洋艦隊にて突撃、日本軍の逃しかけた勝利を手にする流れを作つたのである。

島村もまた、露バルチック艦隊の航路を割り出す重要な決断に貢献しているが、両者に関して何といつても有名なのが自ら沈めた敵艦の兵を救助したエピソードであろう。

日本海海戦に先立つ「蔚山沖海戦」で、沈み行く敵艦リューリクの奮戦に「敵ながら天晴れ」とした上村が乗組員の救助と手厚い保護を命じた事実は全世界に伝わり賞賛を集めたと言われ、また後の海戦では『磐手』における島村が敵海防艦ウシャークフの乗員を同様に救助・保護した事が知られている。

思えば『出雲』とは「国譲り」の伝承でも知られる通り、大和朝廷の陰に埋もれさせられた政権の拠点とも言われる地。出雲弁と東北の言葉に共通点が多いように「蝦夷」との親和性もよく語られる事だ。大和国を象徴する「三笠」率いる第一艦隊の陰となつて動いた第二艦隊の『出雲』と『磐手』・・・これは偶然の配置だったのだろうか?

確かに、上村中将は薩摩出身、島村少将は土佐出身で歴とした「薩長土肥」軍閥なのだが、本をたせば薩摩も土佐も熊襲や流刑地の伝統で云わば縄文的、東北に共通した資質があつた。どこまでもこじつけと言われればそれまでなのだが、この第二艦隊による敵兵救助の「美談」は時代を超えて語り継がれ、次の大戦でもう一つの歴史的な出来事に結実する事になるのである。それが、駆逐艦『雷』による敵兵の救助劇だった。

『雷』の艦長は、山形県の現・高島町出身であつた

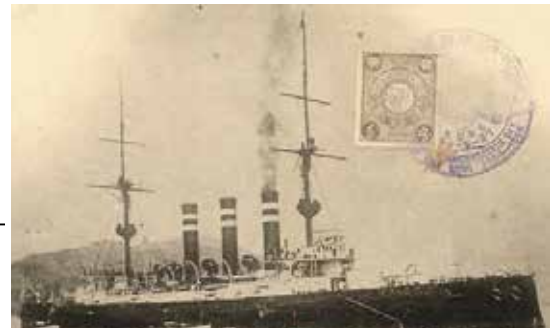
工藤俊作少佐。後に離任した『雷』撃沈の折、かつての部下らが枕元に立ったという程に慕われた工藤は、幼少を『出雲』、『磐手』の成し遂げた偉業を聞いて育ち、第一線を離れ練習艦となつた『磐手』とともに遠洋を旅し、兵学を修めた。

後に『雷』艦長となつた工藤は一九四二年スラバヤ沖海戦で敵軍である英国艦の四百名を超える漂流兵を救助。英語で「貴殿らは日本海軍の名譽ある賓客である」と伝え丁寧に遇した。敵の攻撃を受ける危険の中での救助であり、また当時軍令として撃沈乗員の処刑が義務づけられていた事も考慮すれば工藤の判断は極めて並外れていた。自らの行為を後年誰一人にも話さず、戦後四十年も経ち、かつて救助された兵の一人が外交官として公表するまで、その事実は全く知られなかつたのである。

さて、話を海自護衛艦『いずも』に戻すと、全長二五〇メートル近い事実上の空母として甦つた『出雲』だが、何故か姉妹艦である『二番艦』は『磐手』ではなく、太平洋戦争時でも空母であつた「加賀」の名二代目「かが」なのだった。そもそも自衛隊の艦と過去の海軍の艦の名称は同名でも無関係というのが外交上でも建前らしいのだが、ともかくも兵器搭載艦としての『磐手』の再生は実現

しなかつた。そういうえば『陸奥』もまたその後の同名艦として思い浮かぶのは、かの原子力船『むつ』である。ただし『むつ』は進水を行つた母港・大湊港のあるむつ市に因んだ名で、戦艦・陸奥の名を引き継いだものではなかつた。もちろん軍艦ではなく観測船として一九六九年に進水、その活躍への期待は大きかつたが、七四年の試験航行中に放射能漏れが発覚。風評被害を恐れたむつ市民から帰港を拒絶された『むつ』は、一ヶ月以上の海上漂流を余儀なくされる。名の由来である街に見放されるという悲劇に見舞われた艦は、その後心臓である原子炉も封印撤去され、あげくは『むつ』の名も廃されて現在は『みらい』というディーゼル動力の海洋地球研究船として活躍している。

護衛艦『いずも』は誕生当初から憲法九条の解釈や改憲、空母への改造の是非



装甲巡洋艦・磐手の勇姿(当時の郵便はがきより)

を巡って国防問題の矢面に立ち続けている。前述のように国家の陰と位置づけられ、尚も出雲が大和という政治権力の隠れ蓑となつて戦う構図が見えてくるかも知れない。戦争という歴史の闇、そして原子力という文明の闇に消えた『いわて』『むつ』という艦の名前。それはあたかも、現代の東北そのものが日本という国の陰に埋もれ続けている現状を暗示するかのようだと、言えれば穿ち過ぎと嘲われようか。

しかし、『磐手』は華々しい戦歴よりもずっと忘れ難い「偉業」を後世に遺した。国家の枠組に捉われず、戦いのない、東北ならではの戦い方。それを東北人が忘れぬ限り『磐手』は私たちの心と東北の大地から、いつでも甦るに違いない。

『陸奥』が『未来』という別名を掲げ、新たな戦いを始めているように。



炎



氷の牙

シリーズ 遠野の自然  
「遠野の立春」  
遠野 1000 景より

暦では立春だが、一年で最も寒い季節である。例年、この季節では、遠野の氷を見ないと落ち着かない。そんなことで、遠野のつららと氷筍は、この季節の「定番」となっている。四季の移り変わりを風景で実感するという生活は現代日本の都市部では味わえない。だから、遠野の風景写真で四季を堪能して、月日の経過を実感する暮らしが、このシリーズ開始以来続いている。これなしには、とにかく落ち着かないのだ。縄文時代以来ずっと続いてきたであろう四季とともに歩む生活から離れた日本であるが、もうそろそろ戻ってもいいのではないかと感じるこの頃である。



仙人冬景



しぶき氷



氷筍



猫の足跡



ツララ

## 三陸海鮮と東北地酒が飲めるお店紹介

三陸酒海鮮会 ANEXXE 会場を求めての探索開始

### 1軒目：東十条の「食堂あいそ」

気仙沼で被災して一ノ関に移り、東十条へ

## 【食堂あいそ】

東京都北区中十条 2-9-15 1F

東十条駅[南口]から徒歩約1分

TEL: 080-4182-4150

ジャンル: ワインバー、ビアバー、  
割ぼう

水曜日以外も営業していますが、  
水曜日の夜は日本酒と寿司の営業  
になります。気仙沼の海鮮と地酒  
がいただけます。

水: 12:00 ~ 14:00、

18:00 ~ 22:00

(料理 L.O. 21:30

ドリンク L.O. 21:30)



【あいそ】を運営するご夫婦

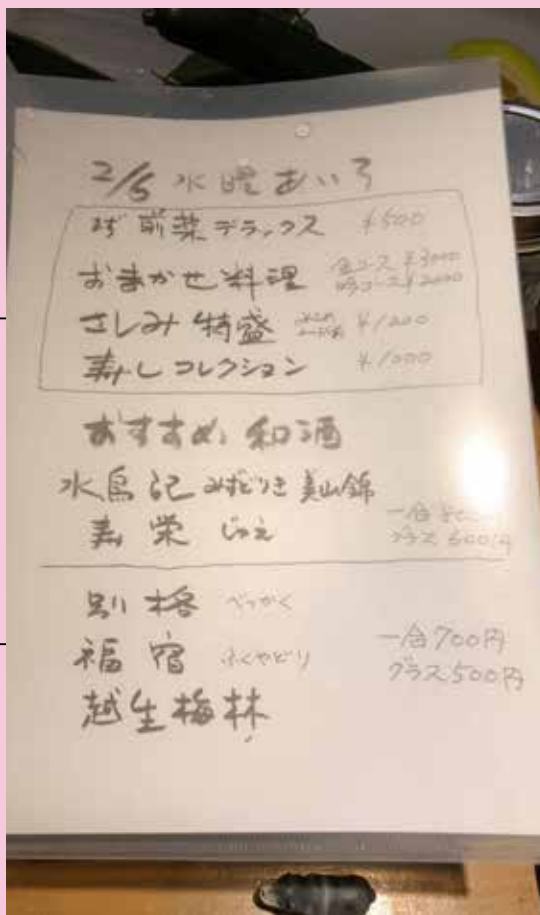
三陸酒海鮮会は昨年十二月、本来のスタイルとは別に anexxe (意味: 別館) という新たな企画を、赤坂のワインバーで実施しました。

も寄せられておりました。そうしたこともあり、本企画とは別シリーズを続けていくのもいいなということ、ふさわしいお店の探索を始めました。

そうしたところに、本企画の常連さんからの推薦のお店があって、そこに二月六日に出かけていきまし

ら歩いて一分のところにある【食堂あいそ】です。親子で運営されているというので、ジャンルのにはワインバー、ビアバー、割ぼうと幅広く、おじゃましたのは水曜日の夜で、日本酒と寿司の日でした。

その日ならば、三陸の海鮮や東北地酒がいただけるということで喜んでおじゃました。



コースと日本酒



つき出しがしゃれています

\*

まずビールを注文したら、出てきたビールグラスの先が尖がっていてテーブルに置けない。そしたら、ガラスのグラス受けが置いてありました。ちょっとしたハプニングの仕掛けでした。

つき出しがまた凝っていました。四品あり、白和えのブドウには恐れ入りました。

器も凝っていました。さらには、ビールから日本酒に移りましたが、ぐい飲みや日本酒用の小さなグラスを選べるというサービス。別の日本酒を頼んだら、味が混じるということ、チェンジ。酒好きにはまことに心憎いサービスでした。

ご夫婦にいろいろお話をお聞きしたところ、元々は宮城県気仙沼市で飲食業を営んでいたが、東日本震災で被災し、その後、岩手県一関市岩泉に疎開して、さらにそれから縁あって東十条に移ったとのことでした。



煮物も旨い



締め寿司が美味しい



チーズ豆腐は風味よし



器も凝っている

## 三陸海鮮と東北地酒が飲めるお店紹介

三陸酒海鮮会 ANEXXE 会場を求めての探索開始

### 2軒目 : 自由が丘の「ひより」

石巻出身のマスター、宮城の日本酒いっぱい



石巻・日高見、墨廻江、美里・黄金澤、仙台・阿部勘など

## 【宮城と東北の酒 ひより】

世田谷区奥沢 2-6-9

奥沢駅出口 1 出口から徒歩約 4 分

TEL : 03 - 5726 - 8123

ジャンル : 居酒屋、ビアホー、バー

宮城県の日本酒が充実、石巻の日高見、墨廻江、塩釜の浦霞、気仙沼の水鳥記など、宮城の日本酒が勢ぞろい、東北の日本酒も揃っています

営業 : 18:00 ~ 24:00

定休日 : 日曜日

マスターは宮城県石巻市の出身、筆者の高校の後輩でもある



店内に並ぶ東北地酒ラインアップ



東北地酒ラインアップ



店の外観

## 三陸海鮮と東北地酒が飲めるお店紹介

三陸酒海鮮会 ANEXXE 会場を求めての探索開始

### 3軒目 : 中野の「魚谷屋」

三陸・宮城の海鮮が美味しい、もちろん東北地酒も

## 【宮城漁師酒場】 【魚谷屋】

東京都中野区中野 2-12-9

高田ビル B1F

【中野駅】南口 徒歩3分

TEL : 03-6304-8455

ジャンル : 居酒屋、魚介料理  
・海鮮

営業 : 17:00 ~ 23:30

(L.O.22:30)

日曜・祝日お休み

宮城県人なら知る人ぞ知るお店

海鮮も直仕入れで新鮮



秋ホヤの味噌漬け



豪華な刺身